

佐呂間町 地域おこし協力隊 活動報告

鈴木身江子

活動期間

2022年4月～2025年3月



鈴木身江子

ミッション 観光プロデュース全般

活動期間 2022年4月～2025年3月

出身地 札幌

主な活動内容

1、SNS配信部門

- ・協力隊Instagram 企画、撮影、編集
- ・佐呂間町公式LINE

2、アパレル部門

- ・観光物産協会スタッフTシャツ企画、制作
- ・企業ロゴ入りTシャツ
- ・130周年ポロシャツ
- ・パーカー、エプロン、バック等

3、教育部門

- ・佐呂間小3年、4年総合授業協力
- ・化石授業協力

4、デザイン部門

- ・130周年ポロシャツ、のぼり旗
- ・企業ロゴ
- ・打ち上げ花火ポスター
- ・佐呂間町小学校副読本イラスト
- ・健康カレンダー2024年11月
- ・サポーターズクラブ会報誌 あじわい市場担当
- ・寿大学化石チーム展示協力
- ・ホタテがみ企画
- ・ジャンボかぼちゃ育て方ブック作成
- ・サロマ湖3町PRイベント配布パンフレット、エコバッグデザイン

5、観光部門

- ・山ガイドの基礎研修受講
- ・ご来光登山
- ・サロマのホタテはなぜ美味しいのかを学ぶツアー企画
- ・スノーシュー登山アテンド

6、PRイベント部門

- ・さろまるしえ企画
- ・道内イオンイベント企画
- ・東京、宮崎イベント準備、参加
- ・収穫祭 サロマPRブース
- ・ハロウィンナイト企画
- ・結水クイズ
- ・サロマかぼちゃデザインコンテスト
- ・スノーランタン制作

7、テレビ新聞等対応部門

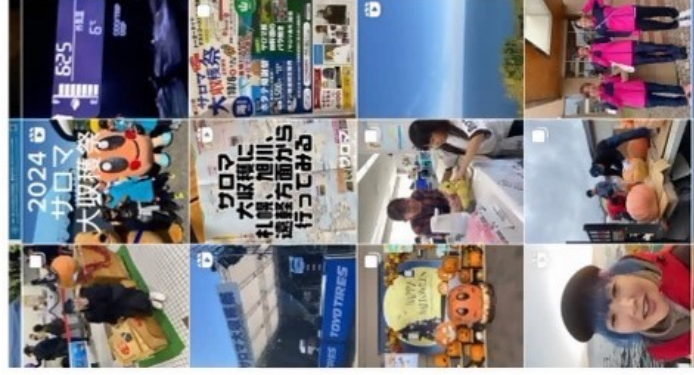
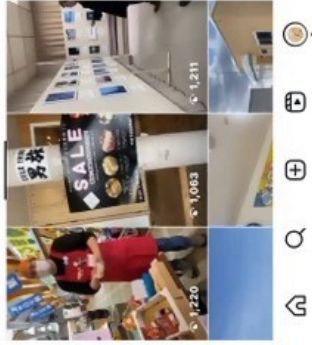
- ・HTBオホーツクへの誘い 出演
- ・NHK列島ニュース全国版、道内版 アテンド、出演
- ・シンガポールTheStraitsTimes (英語版、中国語版 2024年2月4日掲載)アテンド
- ・道新オホーツク版 記事提供

8、その他

- ・打ち上げ花火実行委員
- ・チャリティイカオケ実行委員
- ・佐呂間町小中学校運営協議会委員
- ・狩猟免許取得、佐呂間町猟友会所属

1、SNS配信部門

- ・協力隊Instagram企画、撮影、編集
- ・佐呂間町公式LINE



Instagramは、3年間で1206投稿。たくさんの佐呂間町民の皆様にご協力をしていただきました。今年に入ってから3ヶ月では、9万回以上の視聴があります。佐呂間町の四季や行事を中心に配信しました。

公式LINEは、月に2回程度の配信。佐呂間町のお知らせを中心にお届けしました。

2、アパレル部門

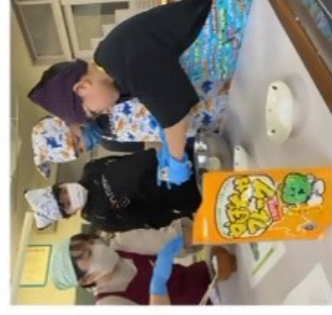
- ・観光物産協会スタップTシャツ企画、制作
- ・企業ロゴ入りTシャツ
- ・130周年ボロシャツ
- ・パーカー、エプロン、バック等



観光物産協会のイベント用スタッフTシャツを、宇野会長と一緒にデザインや色を吟味しての制作からはまりました。佐呂間町開基130周年ポロシャツも制作し、たくさんの方々に着ていただきました。課ごとに色を揃えてたり、遊び心のある対応に感謝しています。企業ロゴ入りバージョンの注文にも対応し、14社の制作をしました。Tシャツ、ポロシャツ、パーカー合わせて、1012枚販売いたしました。

3、教育部門

- ・佐呂間小3年、4年総合授業協力
- ・化石授業協力



佐呂間小学校3年生、4年生の総合の時間で、佐呂間町の観光について学ぶ事になり、協力要請がありました。2024年度、2025年度と試行錯誤しながら進めてきました。3年生はかぼちゃ、4年生はホタテを教材として佐呂間町の観光との関わりを考えました。

3年生

町長のかぼちゃ講座

道の駅農園のかぼちゃ栽培(苗植え、草取り、収穫)
かぼちゃ農家見学、どうしたらいいかぼちゃができるか聞く
役場かぼちゃジャック(佐呂間町役場におもちゃかぼちゃを飾る)
収穫祭佐呂間町PRブースで、自作のパンプレットとおもちゃかぼちゃをプレゼントする
ハロウィンナイト(かぼちゃクラブのみなさんに教えてもらい、かぼちゃランタンを作る)
農協女性部にかぼちゃフレーククッキングを教えてもらう
保護者、お世話になった方を招待して、教えてもらったかぼちゃ料理を振る舞う
一年間の活動をオンラインで都農小学校に発表する

4年生

町長のホタテの歴史講座

植樹祭に参加し、木とサロマ湖の関係を知る
漁組青年部の水産授業を受けた5年生の報告を聞く
5年生の水産授業で使ったホタテの殻をもらい、洗う
ホタテがみ年賀状作成し、都農町長、都農小学校、都農観光協会に送る
佐呂間町に観光にきたお客様の記念になるものがないか考える
稚貝殻でキャンドル作成(キャンドル作家の常呂町協力隊に力を貸してもらう)
赤ちゃん貝殻でキーホルダー作成
どこで配布するのがいいか相談し、お店に行くと
一年間の活動をオンラインで都農小学校に発表する

化石授業

伊東一さんの化石授業をお手伝いさせていただきました。教育委員会主導のもと、3つの小学校で1週間ずつ佐呂間町で採れた化石、石器、土器等を展示、2つの小学校で授業がありました。貴重な化石、石器、土器に触ってもらいたい、好きなものに没頭する楽しさを伝えたいという伊東さんの思いを形にできるように、何度も打ち合わせをして授業の準備をしました。伊東さんの話を聞いて、実際に石器に触ってみた児童のみなさんの眼はキラキラしていました。

4、デザイン部門

- ・130周年ポロシャツ、のぼり旗
- ・企業ロゴ
- ・打ち上げ花火ポスター
- ・佐呂間町小学校副読本イラスト
- ・健康カレンダー-2024年11月
- ・サポーターズクラブ会報誌 あじわい市場担当
- ・寿大学化石チーム展示協力
- ・ホタてがみ企画
- ・ジャンボかぼちゃ育て方ブック作成
- ・サロマ湖3町PRイベント配布パンフレット、エコバッグデザイン
- ・さろま〜る看板

JAアライグマ警戒チラシ

企業ロゴ

ポスター



健康カレンダー

小学校副読本

サロマ湖3町PRイベント配布パンフレット、エコバッグデザイン

・さろま〜る看板



100周年ポロシャツ、のぼり旗

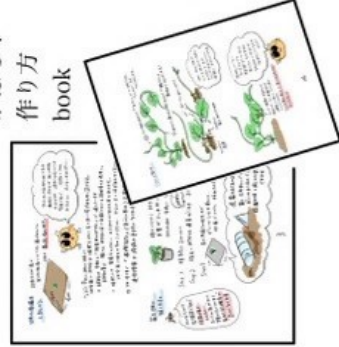


サポーターズクラブあじわい市場

寿大学化石チーム展示



かぼちゃ
作り方
book



サロマ湖3町PRイベント配布パンフレット、エコバッグ

5、幌岩山部門

- ・山ガイドの基礎研修受講
- ・ご来光登山
- ・サロマのホタテはなぜ美味しいのかを学ぶツアー企画
- ・スノーシュー登山アテンド

さろま〜る看板は、佐呂間高校のボランティアと一緒に制作。



6、PRイベント部門

- ・さろまるしえ企画
- ・道内イオンイベント企画
- ・東京、宮崎イベント準備、参加
- ・収穫祭 サロマPRブース
- ・サロマかぼちゃデザインコンテスト
- ・ハロウィンナイト企画
- ・結水クイズ
- ・スノーラタン制作



さろまるしえは、7月～10月の毎月第3日曜日開催。当日は、開店前からお客様が来て、11時には品薄状態になる盛況ぶりでした。多くは町内のお客様ですが、遠軽、湧別、北見からも来店。旅行者も立ち寄ってくれ、毎回30～50人の来店でした。各SNS、防災無線、9月は秋宵祭のステージで来店を呼びかけ、マルシェののぼり旗も効果がありました。

野菜おすそ分けマーケットに賛同してくださる皆さまのおかげで、毎回3～5店舗あり、生産者とお客様のコミュニケーションが楽しい時間になっています。

イオンでのPRイベントは、2024年度からはじまり、北見、札幌平岡、旭川で実施しています。ホタテの網を展示したり、サロマ湖の事を知ってもらうワークシートを用意して、工作だけでなく知識も持って帰ってもらいます。

北見 お正月ホタテ絵馬71人参加

札幌平岡 母の日 ホタテがみとホタテキャンドル50人参加

札幌平岡 夏休み自由研究展 ホタテキャンドルホルダー60人参加

北見 ジャンボかぼちゃ展示、おもちゃかぼちゃアート

旭川 ホタテがみ年賀状80人、ホタテクリスマスキャンドル41人参加



東京、宮崎の経済交流都市にて、イベント参加。
航空券、宿泊施設の調整、手配、使用物品の準備に携わりました。

港区民まつりでは、キャラクターパレードに参加。佐呂間公式キャラクターのももちゃんも一緒に東京に行きました。パレードでは、さろまにあんのお客様の東京チームが手伝ってくれました。ブースでは、佐呂間出身の方やサポーターズクラブの方がボランティアしてくださいました。



サロマ大収穫祭で、サロマPRブースを設置。佐呂間小学校3年ボランティアが、自作のパンフレットとおもちゃかぼちゃをお客様にプレゼント。エントランスにもかぼちゃを飾りました。

郵便局ボランティアの皆さんにもお力を借りて、ホタテがみを送れるようにしました。郵便局キャラクターのボスクマくんもきてくれました。



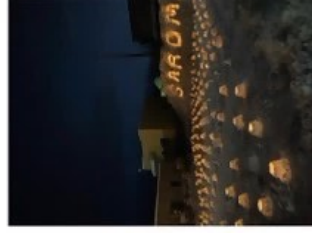
すでにやっていたお店前のかぼちゃのディスプレイを、コンテスト形式にしました。たくさんさんの企業にご協力いただき、2024年度は14、2025年度は29のエントリーになりました。オトナの本気は、面白い！



かぼちゃ月間の締めくくりイベントにと、サロマハロウィンナイトを企画。150個以上のランタン制作。約300人のお客様が見に来てくれました。
かぼちゃクラブのみなさん指導のもと、佐呂間小学校3年生がランタン制作に挑戦。ディスプレイ用の足場を高橋土建に協力いただきました。音楽教室ハッピーメモロディの先生にエレクトーンの生演奏していただき、JA提供のかぼちゃフレークでスープを配布。同時開催のお菓子スタンプラリーには、町内の菓子店にご協力いただきました。あおきさんにトラック貸していただいたり、たくさんさんのボランティア協力で無事に開催できました。



第一回目となる2024年度は、エントリー262人で正解者1名、2025年度は、298人エントリーで正解者5名でした。
クイズをすることで、サロマ湖の事を知っていただく事を目的としており、今年は完全結氷したサロマ湖を散歩したいと旅行者が訪れていました。



社会福祉協議会主催のかまくら雪まつりのキャンドルナイトに参加。さろま〜る会場として、佐呂間小学校3年生と一緒に2024年度から制作しています。200個のキャンドルが美しくかったです。

7、テレビ新聞等対応部門

- ・HTBオホーツクへの誘い 出演
- ・NHK列島ニュース全国版、道内版 アテンド 出演
- ・シンガポールTheStratsTimes (英語版、中国語版 2024年2月4日掲載)アテンド
- ・道新オホーツク版 記事提供



「HTBオホーツクへの誘い」収録に向け、かぼちゃフレークを使用したお菓子のレシピ作りとホタてがみの完成を急ピッチで行いました。収録当日は、スピードスケートの岡崎さんと一緒にクッキングして、ホタてがみを描いていただきました。この映像は、サロマ湖道の駅で流れています。



「NHK列島ニュース」は、プロデューサーをサロマの素敵なところをご案内するところからはじまりました。漁師さんや道の駅との交渉、打ち合わせや宿泊施設の手配も行いました。

当初は、道内の放送の予定でしたが、全
国版にも放送されました。

JETRO日本貿易振興機構の企画で、シンガポールチームが北海道のホタテの美味しさを取材するためのコーディネートを行いました。計画段階では、別海あたりの取材を考えていたようですが、取材内容の希望が佐呂間町ですべて叶うとよろこんでいただき、野付漁港(JETRO手配)と佐呂間町中心の取材となりました。中標津空港からのアテンドを行い、取材先の別海のチーズ工房、佐呂間役場、佐呂間町漁組、佐呂間町牧場、宿泊、レンタカー、ドライバなどの調整手配いたしました。

シンガポールの新聞では、見開きで大きく取り扱っていただき、佐呂間町町長、漁業組合長のインタビューも掲載されました。オホーツクの漁業組合長のみなさんがシンガポールに視察に行かれるとの事でしたので、現地の新聞社の方とお繋ぎいたしました。

THE STRAITS TIMES

Sunday Feb 04, 2024



道新オホーツク版の取材を受けたり、写真を提供したりして、佐呂間町のイベントの告知や活動の様子を掲載していただきました。

8、その他

- ・打ち上げ花火実行委員
- ・チャリティーカーオケ実行委員
- ・佐呂間町小中学校運営協議会委員
- ・狩猟免許取得、佐呂間町狐友会所属







